

Summary table for 'がん検診事業' (Cancer Screening Project) including policy name, budget, and organizational details.

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

Project overview table with sections for ① 事業期間 (Project Period) and ② 事業内容 (Project Content).

(2) 事務事業の手段・指標

Means and indicators table with sections for ① 主な活動 (Main Activities) and ② 活動指標 (Activity Indicators).

(3) 事務事業の目的・指標

Purpose and indicators table with sections for ① 対象 (Target) and ② 意図 (Intent), and ③ 対象指標 (Target Indicators) and ④ 成果指標 (Outcome Indicators).

(4) 事務事業のコスト

Cost table with sections for ① 事業費の内訳 (Project Cost Breakdown) and ② コストの推移 (Cost Trends).

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

Environmental changes and resident opinions table with sections for ① 環境変化 (Environmental Changes), ② 改革改善の経緯 (Reform/Improvement History), and ③ 関係者からの意見・要望 (Opinions/Requests from Stakeholders).

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由 無料クーポン券の配布は国の補助基準見直し後も市単独事業として継続実施してきたが、受診率向上対策としての効果は低い。ため目的と対象を見直す必要がある。
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 がんの好発年齢(壮年期層及び子宮頸がんの若年層)の受診が少ないため、医療機関や事業所等と連携し受診環境の整備などががん対策を推進する必要がある。死亡率低下に寄与するよう高精度のがん検診(資格管理、検査内容の見直し)を行う必要がある。R3年度から無料クーポン券対象者を見直す(がん検診対象年齢に達する20歳と40歳に配布)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 検診がなくなると、がんの早期発見、早期治療の機会が減少し、結果的に医療費が増大する。また、がんで死亡される方が増加し、平均寿命が短くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 他に手段がない	(具体的な手段や類似事業名) 各事業所が従業員を対象に実施するがん検診事業 理由 がん好発年齢である働き盛り世代の受診率向上に向けては事業所や医療機関との連携強化が必要である。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 事業費の大部分は委託料である。R3年度から無料クーポン券配布対象者を見直すこととしたが、受診率が向上すれば事業費は増加する。一方で、がん検診により早期発見・早期治療につながれば医療費の削減と健康寿命の延伸が期待できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 公共関与の妥当性、市民の現状把握から現場対応も職員で実施している。郵送大腸がんについてはR2年度に委託先を変更し事務量の削減を図っている。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 対象となるべき住民に公平に受診機会を設定している。また、自己負担金も委託金額に応じた額としている。無料クーポン券についてはR3年度から配布対象者を見直した。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) がん死亡は、死因の上位であり、がん検診はがんを予防するためには有効である。しかし、がんの好発年齢である壮年期のがん検診受診者は少ない。
	A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
・検診受診の必要性について周知を徹底するとともに、医療機関や事業所等とも連携を図り、がんの好発年齢である壮年期層及び若年層(子宮頸がん)を対象とした受診率向上対策の充実を図る必要がある ・死亡率の低下につながるよう資格管理(対象者管理)や検査内容の見直し、精密検査未受診者への受診勧奨等を行い、より精度の高いがん検診を実施できるよう体制整備を行う必要がある。 ・住民のニーズに基づき、セット検診や土日検診など継続受診しやすい環境整備を図る必要がある。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">           廃止・休止の場合は記入不要。            コストが増加(新たに費や)し成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。         </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		